エコアクション21

環境経営レポート

2023年10月1日～2024年9月30日

泉建設株式会社

作成日　2025年2月10日

目　次

1.　組織の概要

2.　実施体制

3.　環境経営方針

4.　環境経営目標（中長期）

5.　環境経営計画

6.　環境目標の実績と評価

7.　環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

8.　代表者による全体評価と見直し・指示

１．組織概要

1-1.事業所名及び代表者名

泉建設株式会社
代表取締役　藤森　智徳

1-2.所在地

〒391-0214　　長野県茅野市泉野 1617

1-3.環境保全関係の責任者及び担当者

経営者　：　代表取締役　藤森　智徳
環境管理責任者　：　総務　小林　一弘
事務局　：　総務　霜野　幸奈

1-4.連絡先

TEL　：　0266-79-3263
FAX　：　0266-79-5750
E-mail　：　izumi092@izuken.co.jp

1-5.事業内容

土木工事の設計・施工、造園工事の設計・施工
a）特定建設業　長野県知事許可　（特-24）第 1437 号
土木工事業　とび・土工工事業　舗装工事業
解体工事業　造園工事業　水道施設工事業

1-6.事業規模

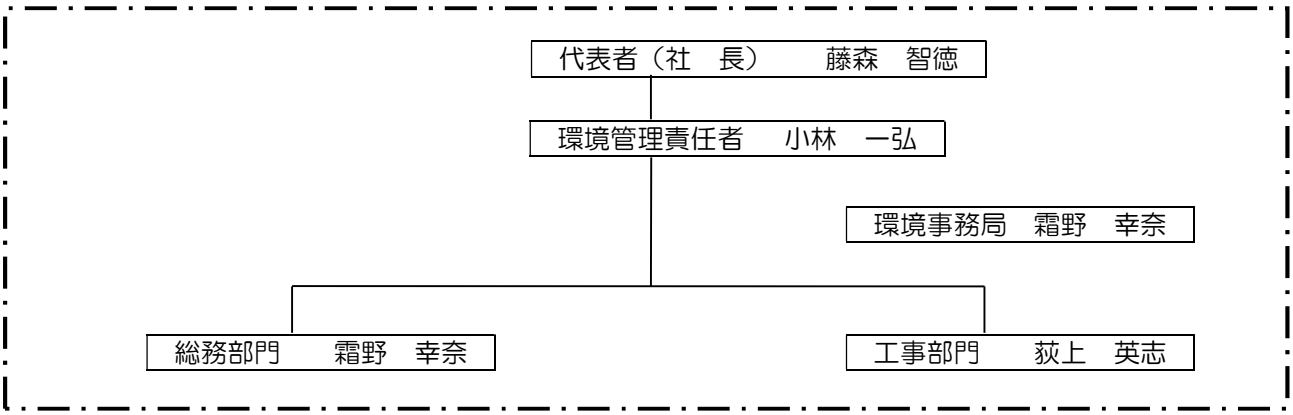
設立　：　1946 年
資本金　：　2000 万円
総売上高　：　821 百万円（2023 年度）
従業員　：　15 名
延床面積　：　246m^2

1-7.対象範囲

全組織・全活動・全従業員が対象である
事業年度：10 月～9 月
環境経営レポート対象期間：10 月～9 月

2.環境実施体制

環境取組体制図



実施事項

代表者（社長）	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境活動計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ票を承認 ・環境経営目標・環境活動計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境活動計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
部門長	・自部門における環境方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成 試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

3.環境経営方針

環　境　経　営　方　針

《基本理念》

環境に関する社会の関心が高まるなか、施工を通じ環境問題に積極的に取組むことにより地域の信頼を得る。

さらに、山野草の育成、販売により人々の生活を豊かにすると共に、自然環境保護に積極的に取り組む。

《環境方針》

① 事業活動において、省資源・省エネルギーに努めます。

② 産業廃棄物の再利用・再資源化に努めます。

③ 環境に関わる関連法令を遵守し、環境保全の向上に努めます。

④ 地域の環境に配慮した工法・製品での建設物を提案し推奨します。

⑤ 環境に優しい製品・工法を調査し、その普及に努めます。

⑥ 環境活動を公表することにより、社員の意識向上に努めます。

制定日　2017年7月1日

改定日　2024年4月1日

泉 建 設 株 式 会 社

代表取締役　藤森　智徳

4.環境経営目標（中長期）

環境経営目標の設定は、2021 年度のデーターを基準として 2022 年度～2024 年度の目標としました。

10 月～9 月

項目		単位	2021年度 基準値	2022年度 目標	2023年度 目標	2024年度 目標
二酸化炭素削減	CO2排出量	Kg-CO2	233.727	231,390	229,052	226,715
		（%）	100%	99%	98%	97%
	電力　*1	kWh	28,606	28,320	28,034	27,748
	ガソリン	L	28,398	28,114	27,830	27,546
	軽油	L	49,390	48,896	48,402	47,908
	灯油	L	11,867	11,748	11,630	11,511
	LPG	kg	9.32	9.23	9.13	9.04
	一般廃棄物	kg	104	104	104	104
	産業廃棄物	kg	201,430	199,416	197,401	195,387
	水使用量	㎥	81	81	81	81
環境配慮	グリーン購入		目標は難しいため積極的にグリーン購入を推進する。			
	化学物質		使用時には、安全データーシートにより確認し、適正に管理する。			
	環境に配慮した工事		工事毎に環境に配慮した工事を行う。			

中部電力㈱　2022 年度 CO_2 排出係数　0.459kg-CO_2/ｋWh

5.環境経営計画

	項　目	活動計画	活動項目
1	CO_2の削減	1照明の消灯	・　必要箇所のみの使用
			・　昼休みの消灯
		2省エネ機器の使用	・　事務機器を省エネ設定とする
		3省エネ運転の実施	・　エコドライブの実施
			・　待機時のエンジン停止
		4建設機械の適正使用	・　朝礼で適切な作業指示を行う
			・　無駄な工程を削減する
		5暖房器具の使用量削減	・　不在時の暖房停止
			・　設定温度の適正化
2	混合産業廃棄物の削減	1材料等の有効利用	・　在庫資材の活用
			・　発注の際割増の低減
		2建設副産物再資源化の徹底	・　マニフェストによる管理の徹底
			・　分別の徹底
3	総排水量の維持	1水道水の削減	・　流し放しで使用しない
		2河川水等の有効利用	・　植木の水やり
4	グリーン購入	1用品購入	・　環境対策資材の提案・購入
		2機械購入	・　環境対策機械の購入
5	環境配慮工事	1発注者への提案	・　環境配慮の工法を提案する。
6	つどいの里	1施設の維持	・　人員の確保
			・　適切な利益の確保

6.環境経営目標の実績と評価

項目			2021 年度 基準値	2023 年度 目標値		2023 年度 実績値
	Co_2 総排出量（kg-Co_2）		233,727	98%	229,052	177,631
	電力	kwh	28,606	98%	28,034	20,977
		Kg-CO_2	10,842		10,625	9,628
	ガソリン	ℓ	28,398	98%	27,830	26,866
		Kg-CO_2	65,883		6456.5	62,330
	軽油	ℓ	49,390	98%	48,402	29,919
		Kg-CO_2	127,426		124,877	78,389
	灯油	ℓ	11,867	98%	11,630	10,945
		Kg-CO_2	29,549		28,958	27,254
	LPG	kg	9.32	98%	9.13	9.73
		Kg-CO_2	28		27.4	29.19
水使用量		㎥	81	100%	81	90
一般廃棄物		kg	104	100%	104	102
産業廃棄物		kg	201,430	98%	197,401	286,490

達成状況の反省と展開

評価

① Co_2 総排出量は、つどいの里が 4 月から分社された事の影響も有るが、昨年に引き続き目標値に対して 77%と大幅に削減する事が出来た。

② 総排水量については、重機整備や現場での水使用量が増えた為、例年よりも大幅に使用量が増えてしまった。

③ 産業廃棄物については、目標値に対して 145%と昨年よりは少なかったが、目標には届いていない。
大幅な増加は、受注した災害復旧工事での排出量が 128ｔと特出していたためで、受注した工事内容に起因するもので有った。

④ 混合廃棄物については、ほぼ横ばいで有った。

総括・来年度への展開

・本年度の CO_2 削減目標は達成されたが、受注する工事の内容や工事場所などによる影響が大きいため、引続き全体朝礼や工程会議において各現場の予定や進捗状況を綿密に把握し、人や機械などの配置を適切に行い、安全管理・環境への配慮・経費節減を会社全体で心がけて行く必要が有る。

・混合廃棄物は横ばいでは有ったが、エコアクション 21 開始当時から削減が出来ていないため、引続き従業員及び外注業者へ分業廃棄と産廃 BOX への投入時には廃棄物の圧縮を徹底する様周知徹底をして行く。

・昨年度購入した ICT 機器の使用事例が少なかった為、全員が積極的に活用し、デジタル化による対応を促進して行く必要が有る。

7. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

次の法が適用され、2024 年 11 月 20 日、遵守の確認を行ったところ、下記の結果でした。
なお、関係当局よりの違反の指摘は、過去５年間ありません。

適用法	法規制内容	評価結果
騒音規制法	・特定建設作業の実施の届出 ・例：バックホウ 80Kw 以上（環境大臣指定は除く）	○
振動規制法	・特定建設作業の実施の届出 ・例：杭打機、破砕機（1 日 50m以内）	○
廃棄物処理法	・前年度産業廃棄物発生量 1000ｔ以上又は特別管理産業廃棄物 50ｔ以上は、多量排出事業者による処理計画及び次年度の実施計画を毎年度 6 月 30 日までに提出が必要	○
指定副産物利用促進省令	・指定副産物に係る再生資源の利用促進 ・建設発生土の利用促進 ・建設発生土を保管する場所の確保 ・副産物の利用促進 ・再生資源の利用促進計画の作成 ・管理体制の整備	○
建設リサイクル法	・事業者の責務 ・分別回収し再資源化の促進 ・再生部品・再生資源の利用促進 ・建設廃材の抑制・再生資源化費用の低減 ・再生資源資材の使用 ・建設物等の分別解体・再生資源対象建設工事 ・対象建設工事の届出	○
消防法（危政令）	・少量危険物の貯蔵・取扱いの基準	○

8. 代表者による全体評価と見直しの結果

経営者による取組みの見直しを行い、次の結果が得られました。

インプット（審議事項）	アウトプット (見直し結果:社長指示)	担当	期限
（1）目標の達成状況 ・CO2 削減： 177,634kgCO_2 22%減 ・混合廃棄物：19.31t 1.2%増 ・排水量削減：90 ㎥ 1.2%増	・CO2 削減は、受注した工事の内容や外注（下請け）の契約内容などに大きく左右されるため、数字だけでは前年度より削減できているのか分かりにくい。 その為、全員が削減に対する認識を常に持ち施工計画を立てる事により、人や機械配置などを適切に行い、無駄な工程や運搬作業などが発生しない様に心がける事が必要だ。 引続き工程会議や全体朝礼等で各現場の進捗状況や予定を綿密に把握、調整し、社員一丸で環境に配慮した会社づくりを行っていく必要がある。 ・昨年導入を行った ICT は導入事例が少なかった為、限られた人だけでなく、全員が積極的に現場で活用を行い、経験の浅い従業員でも無駄のない作業を行うことができる様促進して行く必要が有る。 ・昨年に引き続き混合廃棄物は目標達成が出来なかった為、改めて従業員及び外注業者への、分別廃棄と産廃 BOX への投入時には廃棄物の圧縮を徹底するよう周知徹底をしていく。	代理人	継続

・グリーン製品購入　：従来どおり、事務用品を購入した。 ・環境配慮工事	・継続して購入に努める。 ・現場代理人は、各現場で積極的に取り組み提案をして行く事。	千野 代理人	継続 継続
（2）最近の不適合事例及び是正処置・予防処置 ・施工での手直し工事は無かった。	・全体のレベルアップを図れる様に、引続き部下の指導教育を強化すると共に必要な資格を取得させ、早く独り立ちできる様にする事。 ・継続して下請を含め安全教育を強化し、無災害を継続する事。	社長	継続
⑶地域住民などの利害関係者からの苦情及び是正・予防処置（管理責任者） ・なし	・公共工事や民間工事に関わらず、工事前の地元説明会や挨拶回りを行い、理解をして貰う様に心掛け継続して行う事。 ・工程会議や全体朝礼時に確認及び指導をする事。	代理人 社長	継続 継続
（4）法規制、遵守評価、社会状況の変化 ・なし	定期的に環境法規制等のリストによるチェックを行い確認する。	小林	継続

（5）負荷の自己チェック、取組の自己チェックの結果	ガソリン・軽油で CO_2 排出量の約 79%になるので、省エネ機械の使用や無駄なアイドリングを減らす様に指導をする事。また、引き続き無駄な工程や機械の使用・運搬などが発生しない様に取り組む事	代理人（社長）	継続
（6）改善の提案	・昨年導入を行った ICT 技術の活用し一人一人の知識及び技能の向上と改善意識の高揚を図る様に、日々の確認及び指導を継続して行う事。 ・講習会や資格取得を積極的に取り組めるように会社全体でバックアップを行う。	課長	継続
（7）その他	新型コロナウイルス感染症が５類へと移行されて居るが、インフルエンザを含め感染対策を継続し、現場への影響を極力抑えられる様引続きで取組む事。 ・外国人技能実習生に対する日本語教育と技能教育を全員で継続して取組む事。	全員 全員	継続 継続
（8）全体評価	1. 環境経営方針 環境経営方針についての変更はないが、社長の交代とつどいの里の分社を合わせ、必要に応じ環境経営方針を含め目標の設定などの見直しを行う。	社長	継続